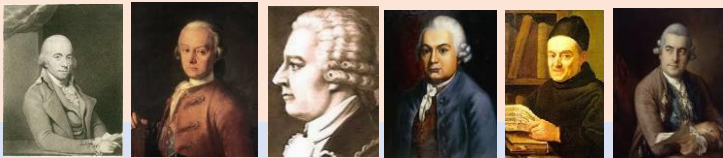


第411回 モーツァルティアン・フェライン例会 久元祐子 陣内みゆき ピアノコンサート

2022年5月22日(日) 14:00開演 場所:ベーゼンドルファー東京



モーツァルトが影響を受けた作曲家と モーツァルトを愛した作曲家



モーツァルト(ブゾーニ編曲):オペラ《魔笛》序曲 (2台ピアノ版)
クレメンティ:ピアノ・ソナタ op.24-2 第1楽章
レオポルド・モーツァルト:ヴォルフガングのための音楽帳より
《メヌエツ》《ポロネーズ》
ヴァーゲンザイル:スケルツォ
ヨハン・ショーベルト:クラヴサンのためのソナタ第1番 第1楽章
C.P.E.バッハ:クラヴィーアのための反復変奏付きソナタ第2番
第1楽章
マルティーニ神父:オルガンまたはハーブシコードのためのソナタ
op.2-3 第1楽章
J.C.バッハ:クラヴィーアのためのソナタop.5-3



ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ ハ短調op.13
「悲愴」第2楽章
ショパン:夜想曲 作品9-2
モーツァルト:ロンド ニ長調 KV485
プーランク:ピアノ協奏曲 (2台ピアノ版)

久元祐子



陣内みゆき



お申込み方法: 下記のアドレスか電話番号へお願いします。全30席 ¥4,000 自由席

山田健二 080-5954-6217 yamaken545545@gmail.com 又は 澤田正彦 090-9303-7614 msmozart@jcom.home.ne.jp

振り込み先: モーツァルティアン・フェライン みずほ銀行 東京中央支店 店番号110 普通預金 口座番号2243788

ご指定の住所にチケットを郵送します。

主催: モーツァルティアン・フェライン

久元祐子 プロフィール

東京藝術大学(ピアノ専攻)を経て同大学院修了。ウィーン放送交響楽団、ラトヴィア国立交響楽団、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団、読売日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団など内外のオーケストラや合奏団と多数共演。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受けている。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。2011年ウィーンでのリサイタルが高い評価を受け、世界でも数少ないベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。ラトヴィア、リガでは、ワーグナーホール、ブラックヘッズにおいてリサイタルを開催。2012年よりイタリア国際モーツァルト音楽祭(ロヴェレート)に度々招かれリサイタルを開催。

またブロードウッド(1810年頃製)、ベーゼンドルファー(1829年製)、プレイエル(1843年製)、エラール(1868年製)などの19世紀オリジナルのピアノを所蔵し、それら歴史的楽器の演奏・研究にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追求する。

「優雅なるモーツァルト」(毎日新聞CD特薦盤、レコード芸術特選盤)などCD16作をリリース。「ベートーヴェン:テレーゼ、ワルトシュタイン」はグラモフォン誌上「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など高い評価を受ける。園田高弘賞、毎日21世紀賞などを受賞。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)、「ショパンとプレイエル・ピアノ」(学研プラス)など多数。

現在、国立音楽大学及び大学院教授、日本ラトヴィア音楽協会理事、ベーゼンドルファー・アーティスト。

久元祐子公式ウェブサイト<http://www.yuko-hisamoto.jp/>

陣内みゆき プロフィール

国立音楽大学演奏学科、東邦音楽大学大学院修士課程(ピアノ)修了、国立音楽大学大学院博士後期課程(音楽学)単位取得満期退学。専門は20世紀フランス音楽、特にオリヴィエ・メシアンのアラベスク《アッシジの聖フランチェスコ》研究。これまでにピアノを藤井一興、児玉桃、吉田たまき、朝山裕子、小島康史の各氏に師事。音楽学を友利修、井上登喜子の両氏に師事。

第41回フランス音楽コンクール ピアノ部門第1位及びフランス大使賞、エールフランス賞、毎日放送賞を受賞。第1回日仏文化協会フランスピアノコンクール SHIODOME HALL賞受賞。



名称	ベーゼンドルファー東京サロン
住所	中野区 本町1-32-2
最寄り駅	東京メトロ丸ノ内線 > 中野坂上駅 (徒歩3分) 都営大江戸線 > 西新宿五丁目駅 (徒歩12分)
公式リンク	www.boesendorfer.com

モーツァルティアン・フェライン創設40周年



今年4月、モーツァルティアン・フェラインは創設40年を迎えました。今後の活動にご期待下さい。